

## 地域産業人材育成講座

### 事業のポイント

■ 徳島県内企業におけるリカレント教育推進の一助となるべく、企業の将来を担う中核人材を対象とした、次世代リーダー養成講座を実施。

### 事業の概要

#### 1. 事業の目的

地域産業人材育成講座は、本学における徳島 MOT（技術経営）コース [平成 16（2004）年度] の有料公開講座開設をきっかけに、経済産業省による企業技術者向けの産学連携製造中核人材育成事業 [平成 17～20（2005～2008）年度] の実施によりスタートした。

本講座は、ものづくり分野における技術者・管理者等の人材育成について、大学教員・企業技術者やそのOB、徳島県の行政担当者、広域連携による他大学の専門講師の協力を得て、社会や顧客ニーズに素早く対応でき、かつコスト削減や課題解決能力を養い、企業のエースとなるべき人材の育成を目的としている。

インターンシップを除く各講座を受講し修了した場合は、講座毎の修了証書を授与し、さらに、開講する講座のうち、受講時間の合計が60時間以上となる3講座を修了し、かつインターンシップを受講（複数年度での受講可）した場合は「徳島大学テクノマイスター」の称号を授与する。

#### 2. 事業の取組状況

開講 18 年目を迎え、新型コロナウイルス感染拡大状況に配慮し、初めの 2 講座をオンライン講義方式、その他を対面方式で以下の 8 講座を開講した。

講座名	時間数	受講者数
生産管理講座	23H (3H×7回、2H×1回)	26名
マーケティング講座	15H (3H×5回)	15名
食品加工・開発講座	21H (3H×7回)	20名
3D-CAD・3Dプリンタ講座	15H (3H×5回)	4名
紫外線LED活用入門講座	21H (3H×7回)	8名
ロボット講座	24H (3H×8回)	4名
AI (人工知能) 入門講座	24H (3H×8回)	17名
インターンシップ	9H (3H×3回)	28名

#### 3. 事業実施による成果と今後の課題

毎年、講座の内容について検討を加えながら開講しており、これまでに累計 1,378 名の企業人が受講し、各企業において中核人材として活躍している。

令和 4 年度は「食品加工・開発講座」を 3 年ぶりに再開設し、令和 2 年 4 月以降の食品表示法改正の完全施行

### 事業代表者・連絡先

田中 俊夫 (人と地域共創センター・センター長)

〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

tel: 088-656-7276 fax: 088-656-7277

e-mail: kygakusk@tokushima-u.ac.jp

及び令和 3 年 6 月から実施された HACCP に沿った衛生管理の制度化といった法改正を踏まえた食品開発に関する知識と技術の習得、LED 技術を用いた異物検査、さらに食品開発の事例として地域食材（徳島県産香酸柑橘類）の機能性を活かした食品開発、新規食材（食用コオロギ）の製品化、次世代食品（機能性宇宙食）の開発について講義、実習を行った。

引き続き、地域における各企業の中核を担う人材育成・社会人教育の一助となる講座を実施する。



食品加工・開発講座の実施風景



インターンシップ実施風景



AI (人工知能) 入門講座の実施風景

## とくしま健康寿命からだカレッジ

### 事業のポイント

■ 徳島県との連携により、徳島県民の健康寿命延伸を実現するため、医療・健康関係の講義及びを開講して地域ボランティア並びに地域リーダーを育成、徳島県下における健康力向上の仕組みを広める活動を実施。

### 事業の概要

#### 1. 事業の目的

徳島県との連携により、講義を実習を通じて徳島県民の健康寿命延伸の実現とそれに係る地域ボランティア並びに地域リーダーの育成を目的とする。

#### 2. 事業の取組状況

令和元年 10 月に基礎課程を開講、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して開講を控え、令和 3 年 11 月に専門課程を開講した。

令和 4 年度は第 2 期基礎課程を 6 月から 12 月の間に実施し、受講者数 13 名のうち 9 名が課程を修了して徳島県知事と徳島大学長から健康寿命パートナーの称号を付与された。

また、前年度に実施した専門課程修了者を対象とし、とくしま健康寿命マスター資格認定試験を行い 6 名が合格した。資格認定された 6 名は、令和 5 年 1 月から 2 月にかけて、徳島県下の 5 市町（阿南市、阿波市、石井町、上板町、上勝町）にて「健康寿命キャラバン」を開催し、地域住民を対象として指導を行った。

#### 3. 事業実施による成果と今後の課題

令和 5 年度は 5 月から 8 月の間で第 2 期専門課程を開講、9 月から翌年 3 月の間で第 3 期基礎課程を開講する。また、第 2 期専門課程修了者を対象として、第 2 回とくしま健康寿命マスター資格認定試験を実施する。

さらには、令和 4 年度から開始した健康寿命キャラバン活動を徳島県下市町村の広範囲に及ぶように拡大していく予定である。

### 事業代表者・連絡先

田中 俊夫 (人と地域共創センター・センター長)

〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

tel: 088-656-7276 fax: 088-656-7277

e-mail: kygakusk@tokushima-u.ac.jp



高齢者の心理の講座実施風景



心肺蘇生法の実習実施風景



とくしま健康寿命マスターによる健康寿命キャラバン実施風景



## まちしごととファクトリー

### 事業のポイント

■ 小さな地域での起業は、「まち」との連携を柱に「しごと」を組み立てることが大切。地域の中でしごとを創りだし、地域を少しずつ変えていく。そんな取組を応援し、地域の新しい担い手を創り出す「まちしごとファクトリー」。

### 事業の概要

#### 1. 事業の目的

本事業は、徳島大学、徳島新聞社、徳島県信用保証協会の連携により、地域で「まちしごと」を創り、実践するアクターを創り出すことを目的とした事業で、令和4年度で8年目となる。

#### 2. 事業の取組状況

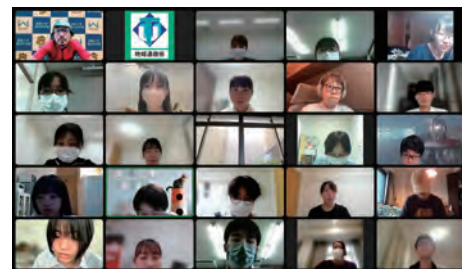
##### ●キックオフセミナー(6月11日)

新型コロナウイルス感染症対策のため、ウェブ会議ツール「Zoom」を活用し、現地会場とオンラインのハイブリッド形式で開催した。児童発達支援事業所を運営する株式会社ハビリティの太田恵理子氏、cotocotoの元木美咲氏、株式会社TABIIの榎本峰子氏、ファインワークスの新田慎典氏の4名をゲストに迎え、起業までの経緯や準備方法、事業の説明、今後の展望についてプレゼン形式でお話いただいた。



##### ●まちしごと実践講座(6月21日、28日、7月5日)

徳島大学の授業「まちづくり地域社会論」との合同で、講師の矢部拓也教授(徳島大学)が実際に関わっている「まちづくり」実践事例を取り上げながら、全3回の講座を開催した。講座では、徳島県吉野川市の事例などを取り上げ、実践する「まちづくり」の取組を共有した。



##### ●まちしごと実践塾(10月22日、12月10日)

徳島県信用保証協会が中心となり、起業に興味のある社会人や徳島大学の大学生等を対象に、全2回の創業に関するセミナー & ワークショップを行い、ビジネスプラン

### 事業代表者・連絡先

山中 英生(人と地域共創センター・副センター長)  
〒770-8502 徳島市南常三島町1-1  
tel: 088-656-9752 fax: 088-656-9880  
e-mail: chkoukenc@tokushima-u.ac.jp

作成を支援した。NPO 法人アクア・チッタ 代表 岡部斗夢氏をゲストに迎え、自らの起業体験をもとに、これから起業を志す受講生にアドバイスと応援をもらった。



##### ●エクスカージョン(12月3日)

地域でまちしごとを展開している起業家の現場訪問のため、徳島県阿波市にある福祉交流民宿「旅の途中」を訪問。民宿を運営する一般社団法人旅の棗 代表 榎本峰子氏から事業取組についてお話いただいた。



##### ●ビジネスモデル特論

徳島県信用保証協会の森卓史地方創生部長が講師を務める徳島大学大学院の公開授業を後期に全11回実施。ビジネスモデルの組み立てなどを講義、実習及びグループワークで学んだ。



##### ●クロージングセミナー(2月4日)

2020年に香川県宇多津町でオープンした四国最大の次世代水族館「四国水族館」の経営・運営に携わる株式会社四国水族館開発 代表取締役 流石学氏に講演いただいた。その後、実践塾生ら各々の事業プレゼンを行い、参加者同士で意見を交わした。

## 公開講座・次世代光講座

### 事業のポイント

■ (公開講座)大学における教育・研究の成果を広く地域に開放し、学びの機会を提供することを目的に事業を実施。  
■ (次世代光講座)光産業における、「新たな光の創出と応用」の実現に必要な研究・開発を担う分野横断型専門人材の育成等を産業界のニーズに基づいて実施し、地域人材の裾野を広げるための事業を実施。

### [公開講座]

### 事業の概要

#### 1. 事業の目的

昭和61年4月に学内共同施設として大学開放実践センターの設置以来、地域社会における生涯学習の拠点として、学内教員及び地域の有識者を講師とする講座を提供している。

#### 2. 事業の取組状況

令和4年度は、春夏期38講座、秋冬期46講座を開講し、春夏期546名、秋冬期533名が受講した。

#### 3. 事業実施による成果と今後の課題

令和5年度においても、講座内容の見直し、新規講座の企画を行い、継続して講座を実施していく。

分野名	春夏期		秋冬期	
	講座数	受講者	講座数	受講者
社会連携分野	1	10名	2	78名
キャリアアップ・資格支援	0	0名	0	0名
人間・社会	4	19名	8	52名
自然・科学	2	16名	0	0名
情報・技術	4	62名	3	12名
芸術	1	13名	1	7名
語学・国際交流分野	4	30名	4	36名
健康・スポーツ分野	13	319名	13	243名
その他	9	77名	15	105名
計	38	546名	46	533名



### 事業代表者・連絡先

田中 俊夫(人と地域共創センター・センター長)  
〒770-8502 徳島市南常三島町1-1  
tel: 088-656-7276 fax: 088-656-7277  
e-mail: kygakusk@tokushima-u.ac.jp

### [次世代光講座]

### 事業の概要

#### 1. 事業の目的

光産業における「新たな光の創出と応用」の実現に必要な研究・開発を担う分野横断型専門人材育成により、地域人材の裾野を広げることを目的として、本学 pLED 及び大学院社会産業理工学研究部教員による講座を実施した。

#### 2. 事業の取組状況

令和3年度に実施した「光計測検査と画像診断」、「医と光の融合が拓く医療の新展開」及び「光コムとその応用」の3つの題目を継承、発展させ、9月3日～24日の各土曜日の4日間実施した。参加者はのべ109人、うち高校生9人、大学生4人、企業関係者等96人であった。

#### 3. 事業実施による成果と今後の課題

若年層から社会人を対象とするリカレント教育講座として、継続して実施する。

講座名	実施日	受講者数
光計測検査と画像解析	令和4年9月3日(土)	29名
レーザーの時間極限と周波数極限	令和4年9月10日(土)	20名
医と光の融合が拓く医療の新展開	令和4年9月17日(土)	42名
ニーズ分析とアイデア創出のためのワークショップ	令和4年9月24日(土)	18名

